
朝起きたら……

優雪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

朝起きたら……

【Nコード】

N3327B

【作者名】

優雪

【あらすじ】

正月も間近の晦日の朝。高校生の少年晶は何故か美少女に。

その1

「んん……寒いなあ」

正月も近い師走の朝、布団の中で俺は呟いた。

「なんで冬つつーのはこんなに寒いんだ？ ……つとしょんべんしよんべん」

布団を抜け出し、トイレへ向かう。

ズボンとトランクスを下げ、便器に腰掛ける。

「今日で冬休みの課題終わらせるかなあ。……ん？ 何で俺座りしよんしてんだ？」

そういえば股間が軽いな。と思いながら、下に目を向ける。

「……なんじゃこりゃあああ！」

俺の目に写ったのは、毛一本生えていない滑らかな恥丘だった。

「んあー、どうすっかなあ……。今まで着てた男もんはでかくて着れないし、かといって姉ちゃんのをずっと借りるってのもなあ」

だらりと机にもたれて、どうするか考える。

うちにゃ親は居ないし、たった一人の姉は单身赴任だし……。

「服は当分姉ちゃんのを使うとして、取り敢えず下着でも買いに行くな」

シャワー浴びようと浴室へ向かう。男物のパジャマを脱いで、鏡の前で新しい自分を観察した。

「おお、自分で言うのもなんだが結構可愛いな。惚れちまいそうだ」
白い肌に紅い唇。眼はぱっちり大きくて鼻筋がすらりと通ってる。
大きくはないが小さくもない形の整った乳房。締まったウエストと、引き締まったヒップ

。腰まで届く黒く長い髪のお陰か、おとなしいイメージの女の

子。

「フリフリ付いたワンピース着たら似合いそうだな」
鏡に映る女の子に話し掛ける。

「っと、早くシャワー浴びなきゃな。買うもん買ったら今日は知でもからかってみるか」

そんなことを考えながら、俺はシャワーを浴びた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3327b/>

朝起きたら……

2010年10月9日16時55分発行